

**製品名: APOC2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07029**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用****希釈倍率** WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	APOC2 APC2
別名	Apolipoprotein C-II (Apo-CII;ApoC-II;Apolipoprotein C2)
遺伝子 ID	344.0
SwissProt ID	P02655
免疫原	ヒト APOC2 由来の合成ペプチド AA 範囲: 1-50

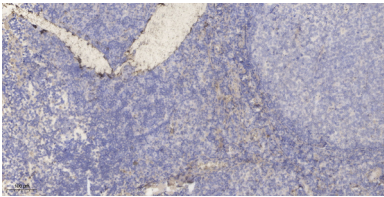
**背景**

この遺伝子は、アポリポタンパク質遺伝子ファミリーに属する脂質結合タンパク質をコードしています。このタンパク質は血漿中に分泌され、超低密度リポタンパク質の構成要素となります。このタンパク質は、トリグリセリドを加水分解し、細胞に遊離脂肪酸を

供給する酵素、リポタンパク質リパーゼを活性化します。この遺伝子の変異は、高トリグリセリド血症、黄色腫、膵炎および早期動脈硬化のリスク増加を特徴とする高リポタンパク質血症 IB 型を引き起こします。この遺伝子は、19 番染色体上で他の関連するアポリポタンパク質遺伝子とともにクラスターを形成しています。この遺伝子と、隣接する上流のアポリポタンパク質 C-IV (APOC4) 遺伝子との間には、自然発生的なリードスルー転写が存在します。[RefSeq 提供、2011 年 3 月]、疾患: APOC2 の欠陥が高リポタンパク質血症 IB 型の原因である[MIM:207750]。高トリグリセリド血症、黄色腫、膵炎および早期動脈硬化のリスク増加を特徴とする常染色体劣性形質である。機能: 血漿中の超低密度リポタンパク質 (VLDL) 分画の成分であり、いくつかのトリアシルグリセロールリパーゼの活性化因子である。APOC2 と血漿カイロミクロン、VLDL、および HDL との結合は可逆的であり、トリグリセリドに富むリポタンパク質の分泌と異化の機能であり、急速に変化する。類似性: アポリポタンパク質 C2 ファミリーに属する。組織特異性: 血漿中に分泌される。、

## 研究分野

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。